

大阪大学
21世紀
懐徳堂

アイ・スポット
i-spot 講座

化ける・変わる・転がる

私たちがふだん何気なく見ているものを、
大学の先生はどんな風に捉えているのでしょうか？
動物の模様、誰もが知っている物語、そして毎日のメイクアップ…。
身近にあるけど実は知らない、そんなテーマを取り上げてお話しします。
受講料は無料です。お気軽にご参加下さい！

i-spot 講座

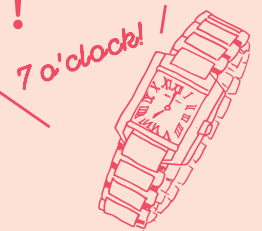
大阪市と大阪大学が共催する、公開講座

全3講座 受講料 無料 定員 各講座先着30名

会場／大阪市まちづくり情報発信施設「アイ・スポット」(淀屋橋 odona2 階)

受講料
無料
(各回申込制)

気軽に教養を身につけたい。
仕事帰りに、知的気分転換したい。
いつもと違う世界をのぞきたい。
アフター7は、i-spot 講座！

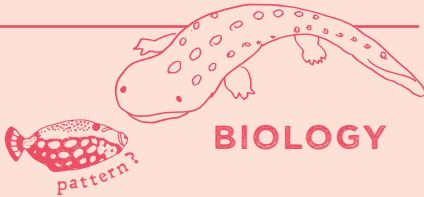


8月31日(水) ①19:00-20:30

生物の体表模様： 模様作りと模様の機能

渡邊正勝

大阪大学大学院生命機能研究科 准教授



生物の体表には実に様々な模様が見られます。縞々模様に水玉模様、迷路模様や格子模様(一番人気は豹柄でしょうか?)。時にはカムフラージュに、あるいは威嚇や求愛に使われる模様ですが、これらの模様はどうやってできるのでしょうか?本講義では、体表模様の機能と形成について、魚類を用いた最近の研究を例に解説したいと思います。模様の形成原理が分かると、水族館や動物園を訪れたときの楽しみが一つ増えるかもしれません。

*本研究は科研費(課題番号 25111714, 26291049)の助成を受けたものです。

申込受付開始 7月31日(日)

9月9日(金) ①19:00-20:30

何が『フランダースの犬』を生かすのか?

橋本順光 大阪大学大学院文学研究科 准教授

アニメでもおなじみの『フランダースの犬』(1872)。主人公のネロは、もう少しで画家になる夢がかなうことも知らず、うちひしがれて愛犬パトラッシュと死を迎えます。この作品、出版されたイギリスでも舞台のベルギーでもさして読まれず、有名なのは日本だけということを知ったことはありませんか。たしかに、埋もれた才能が開花する物語の方が欧米では有名ですが、それは本当に対立するものなのでしょうか。『フランダースの犬』が死なずにすんだシナリオと、この話を別の姿で語り継いだ作品群の二つを考え、人気の温度差を探りたいと思います。

申込受付開始 8月9日(火)



9月14日(水) ①19:00-20:30

化粧の見え方をめぐる 知覚・認知心理学

松下戦具

大阪大学大学院人間科学研究科 助教



例えば、まつげの生え際付近に線を引く化粧(アイライン)をすると、目が大きく見えます。それはなぜでしょうか?単に目とまぶたとの境界が誤認されるだけでしょうか?この講座ではまず、化粧の中に潜む錯視(いわゆる目の錯覚)を解説します。併せて、化粧効果を学術的に調べることの意義にも触れます。最後には、顔の魅力に関して、未だ答えを見ない問い(例えば「なぜ大きな目が好まれるのか?」)についても考えてみたいと思います。

申込受付開始 8月14日(日)

